



2023年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月11日

上場取引所 東 名

上場会社名 ジャパンベストレスキューシステム株式会社

コード番号 2453 URL <https://www.jbr.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 榊原 暢宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 若月 光博 TEL 052-212-9908

四半期報告書提出予定日 2023年5月11日 配当支払開始予定日 2023年6月12日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第2四半期の連結業績（2022年10月1日～2023年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第2四半期	9,208	4.6	725	△1.7	718	3.3	322	△37.8
2022年9月期第2四半期	8,806	32.7	738	9.8	695	△14.6	518	△4.2

(注) 包括利益 2023年9月期第2四半期 280百万円 (-%) 2022年9月期第2四半期 △20百万円 (-%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第2四半期	9.80	9.29
2022年9月期第2四半期	15.30	15.24

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第2四半期	28,201	10,419	32.7
2022年9月期	27,884	10,802	35.4

(参考) 自己資本 2023年9月期第2四半期 9,229百万円 2022年9月期 9,869百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	9.00	—	9.00	18.00
2023年9月期	—	9.00	—	—	—
2023年9月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年9月期の連結業績予想（2022年10月1日～2023年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,300	2.8	1,650	13.0	1,500	27.9	950	116.9	28.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有

新規 一社（社名）、除外 1社（社名） 株式会社アクトコール

（注）詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（注）詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年9月期2Q	34,127,177株	2022年9月期	34,127,177株
② 期末自己株式数	2023年9月期2Q	1,329,229株	2022年9月期	690,002株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年9月期2Q	32,957,563株	2022年9月期2Q	33,892,928株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10
(会計方針の変更)	10
(表示方法の変更)	10
(セグメント情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ウィズコロナの生活様式への転換が徐々に進み、日常を取り戻そうとしてきている一方、世界的な金融引き締めやウクライナ情勢の長期化等による原材料価格の上昇、供給面での制約等に起因する物価上昇等が続いており、依然として先行きは不透明な状況となっております。

このような状況の下、当社グループは「困っている人を助ける」という経営理念に基づき、「ありがとう」と言ってもらえる、安心・安全・快適なサービスを提供することで、既存事業の強化と新たな成長基盤の確立に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高は9,208,579千円（前年同期比4.6%増）、営業利益は725,712千円（前年同期比1.7%減）、経常利益は718,873千円（前年同期比3.3%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は322,825千円（前年同期比37.8%減）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における会員事業における有効会員数は生活トラブル2,359千人、延長保証1,478千人、保険事業における被保険者数は704千人となっております。

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

① 会員事業

主力の賃貸入居者向け会員サービス提供である「安心入居サポート」の会員数が順調に増加したことにより、当第2四半期連結累計期間における当事業の売上高は、4,960,017千円（前年同期比1.6%増）となり、営業利益は444,993千円（前年同期比4.5%減）となりました。

② 保証事業

住宅設備の延長保証サービス「あんしん修理サポート」の販路拡大が奏功し、当第2四半期連結累計期間における当事業の売上高は、805,950千円（前年同期比15.2%増）となり、営業利益は295,072千円（前年同期比9.8%増）となりました。

③ 保険事業

主力の家財保険「新すまいRoom保険」の契約件数の拡大が好調に推移したことに加え、スマホ保険・スポーツクラブ傷害保険の売上が寄与したことにより、当第2四半期連結累計期間における当事業の売上高は、3,159,215千円（前年同期比22.7%増）となり、営業利益は219,637千円（前年同期比16.7%増）となりました。

④ 駆けつけ事業

当該事業は会社分割の上、当社の関連会社である株式会社アクアラインへ2022年11月30日を効力発生日として譲渡したことにより、当第2四半期連結累計期間における当事業の売上高は、144,226千円（前年同期比70.5%減）となり、営業損失は524千円（前年同期は営業損失53,578千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末と比べ323,781千円増加し、16,651,375千円となりました。これは主に、現金及び預金が374,914千円増加したことによるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末と比べ15,624千円減少し、11,109,229千円となりました。これは主に、投資有価証券が189,125千円増加したものの、のれんが92,226千円、ソフトウェアが90,587千円、ソフトウェア仮勘定が23,020千円減少したことによるものであります。

(繰延資産)

当第2四半期連結会計期間末における繰延資産の残高は、前連結会計年度末と比べ8,310千円増加し、440,687千円となりました。これは主に、保険業法第113条繰延資産が9,240千円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末と比べ521,781千円増加し、7,962,660千円となりました。これは主に、短期借入金が400,000千円、責任準備金が162,521千円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末と比べ177,914千円増加し、9,818,953千円となりました。これは主に、社債が105,000千円減少したものの、長期前受収益が202,443千円、長期借入金が85,123千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末と比べ383,228千円減少し、10,419,676千円となりました。これは主に、非支配株主持分が254,913千円増加したものの、自己株式が524,975千円増加し、その他有価証券評価差額金が135,360千円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、13,944,971千円（前年同期比15.0%増）となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、915,291千円（前年同期比31.4%増）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益694,497千円の計上によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は226,557千円（前年同期は701,259千円の獲得）となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入130,107千円があったものの、投資有価証券の取得による支出405,598千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、313,819千円（前年同期比26.4%増）となりました。これは主に、短期借入金が400,000千円増加したものの、自己株式の取得による支出528,144千円や配当金の支払額281,627千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想に関しましては、2022年11月4日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,080,057	14,454,972
売掛金	1,124,269	1,140,101
商品	2,523	2,027
貯蔵品	11,860	11,746
その他	1,127,108	1,057,485
貸倒引当金	△18,226	△14,957
流動資産合計	16,327,593	16,651,375
固定資産		
有形固定資産	151,363	131,780
無形固定資産		
のれん	1,654,287	1,562,061
その他	801,792	678,553
無形固定資産合計	2,456,080	2,240,615
投資その他の資産		
投資有価証券	5,698,093	5,887,218
その他	2,877,075	2,887,985
貸倒引当金	△57,758	△38,370
投資その他の資産合計	8,517,410	8,736,833
固定資産合計	11,124,854	11,109,229
繰延資産	432,376	440,687
資産合計	27,884,824	28,201,291
負債の部		
流動負債		
買掛金	469,099	488,828
短期借入金	400,000	800,000
未払法人税等	215,999	136,288
賞与引当金	86,089	75,172
支払備金	74,318	96,351
責任準備金	1,069,544	1,232,066
前受収益	3,064,851	3,067,376
その他	2,060,976	2,066,576
流動負債合計	7,440,879	7,962,660
固定負債		
社債	555,000	450,000
長期借入金	1,270,363	1,355,486
資産除去債務	107,496	105,400
長期前受収益	7,511,335	7,713,778
その他	196,844	194,288
固定負債合計	9,641,039	9,818,953
負債合計	17,081,918	17,781,614

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	780,363	780,363
資本剰余金	6,946,096	6,944,647
利益剰余金	2,833,709	2,855,601
自己株式	△452,383	△977,359
株主資本合計	10,107,786	9,603,252
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△238,422	△373,782
その他の包括利益累計額合計	△238,422	△373,782
新株予約権	2,920	4,671
非支配株主持分	930,622	1,185,536
純資産合計	10,802,905	10,419,676
負債純資産合計	27,884,824	28,201,291

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
売上高	8,806,732	9,208,579
売上原価	5,417,523	5,918,006
売上総利益	3,389,209	3,290,573
販売費及び一般管理費	2,651,069	2,564,861
営業利益	738,140	725,712
営業外収益		
受取利息	2,588	3,142
受取配当金	19,823	20,469
投資有価証券売却益	110,264	78,291
その他	35,916	23,504
営業外収益合計	168,593	125,407
営業外費用		
支払利息	12,554	8,175
保険業法第113条繰延資産償却費	39,305	51,572
投資有価証券売却損	513	7
持分法による投資損失	18,205	58,503
デリバティブ評価損	108,539	—
支払手数料	9,434	4,624
その他	22,276	9,362
営業外費用合計	210,829	132,246
経常利益	695,904	718,873
特別利益		
固定資産売却益	504	13
資産除去債務戻入益	3,127	—
特別利益合計	3,632	13
特別損失		
固定資産売却損	195	—
固定資産除却損	7,820	4,718
減損損失	2,083	—
投資有価証券評価損	—	13,173
子会社株式売却損	—	6,497
その他	552	—
特別損失合計	10,652	24,389
税金等調整前四半期純利益	688,884	694,497
法人税、住民税及び事業税	184,986	136,128
法人税等調整額	△32,587	142,677
法人税等合計	152,398	278,806
四半期純利益	536,485	415,691
非支配株主に帰属する四半期純利益	17,865	92,865
親会社株主に帰属する四半期純利益	518,619	322,825

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	536,485	415,691
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△552,928	△132,032
持分法適用会社に対する持分相当額	△3,939	△3,328
その他の包括利益合計	△556,868	△135,360
四半期包括利益	△20,382	280,331
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△38,248	196,095
非支配株主に係る四半期包括利益	17,865	84,235

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	688,884	694,497
減価償却費	147,416	141,353
減損損失	2,083	—
のれん償却額	107,226	92,226
保険業法第113条繰延額	△47,018	△60,813
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△6,782	△14,151
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△10,278	△10,916
受取利息及び受取配当金	△22,412	△23,612
支払利息	12,554	8,175
持分法による投資損益 (△は益)	18,205	58,503
資産除去債務戻入益	△3,127	—
固定資産売却損益 (△は益)	△309	△13
固定資産除却損	7,820	4,718
投資有価証券売却損益 (△は益)	△109,751	△78,284
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	13,173
子会社株式売却損益 (△は益)	—	6,497
デリバティブ評価損益 (△は益)	108,539	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△36,781	△15,831
棚卸資産の増減額 (△は増加)	4,573	△331
前払費用の増減額 (△は増加)	1,265	24,924
未収入金の増減額 (△は増加)	△174,346	△186,904
差入保証金の増減額 (△は増加)	1,341	△25,986
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	580	874
仕入債務の増減額 (△は減少)	△16,726	19,728
未払金の増減額 (△は減少)	278,196	218,916
前受収益の増減額 (△は減少)	△77,862	2,524
長期前受収益の増減額 (△は減少)	139,633	202,443
その他	△61,753	△17,422
小計	951,173	1,054,290
利息及び配当金の受取額	22,739	22,771
利息の支払額	△13,338	△9,352
法人税等の支払額	△263,960	△217,200
法人税等の還付額	—	64,781
営業活動によるキャッシュ・フロー	696,613	915,291

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△500,000	△500,000
定期預金の払戻による収入	500,000	500,000
有形固定資産の取得による支出	△20,023	△8,941
有形固定資産の売却による収入	14	13
無形固定資産の取得による支出	△150,104	△42,825
投資有価証券の取得による支出	△287,226	△405,598
投資有価証券の売却による収入	1,147,562	130,107
貸付けによる支出	—	△1,933
貸付金の回収による収入	15,071	5,724
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	100,000
その他	△4,033	△3,102
投資活動によるキャッシュ・フロー	701,259	△226,557
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	350,000	400,000
長期借入れによる収入	200,000	900,000
長期借入金の返済による支出	△267,330	△840,820
社債の償還による支出	△135,000	△115,000
自己株式の取得による支出	△259,401	△528,144
非支配株主からの払込みによる収入	153,300	151,155
新株予約権の発行による収入	—	2,698
配当金の支払額	△287,608	△281,627
その他	△2,311	△2,080
財務活動によるキャッシュ・フロー	△248,351	△313,819
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,149,522	374,914
現金及び現金同等物の期首残高	10,975,264	13,570,056
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,124,786	13,944,971

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年11月4日開催の取締役会決議に基づき、自己株式639,200株の取得を行いました。これを主な原因として、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が524,975千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が977,359千円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間より、当社の連結子会社であった株式会社アクトコール及び株式会社TSUNAGUは、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書)

コールセンターに係る費用の一部につきまして、第1四半期連結会計期間より区分表示を変更することといたしました。この変更は費用の発生態様をより明確にすることにより、当社グループの売上原価、販売費及び一般管理費をより適正に表示するために行ったものであります。この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「販売費及び一般管理費」に表示していた461,277千円を「売上原価」として、また「売上原価」に表示していた78,352千円を「販売費及び一般管理費」として組み替えております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年10月1日至2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 3
	会 員	保 証	保 険	駆けつけ	計			
売上高								
一定の期間にわたり 移転される財及び サービス	4,035,193	583,605	—	—	4,618,798	—	—	4,618,798
一時点で移転される 財及びサービス	847,015	115,996	—	489,219	1,452,232	162,200	—	1,614,433
顧客との契約から生 じる収益	4,882,209	699,601	—	489,219	6,071,030	162,200	—	6,233,231
その他の収益(注)4	—	—	2,573,501	—	2,573,501	—	—	2,573,501
外部顧客への売上高	4,882,209	699,601	2,573,501	489,219	8,644,531	162,200	—	8,806,732
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,835	—	1,963	375	4,173	—	△4,173	—
計	4,884,044	699,601	2,575,464	489,595	8,648,705	162,200	△4,173	8,806,732
セグメント利益 又は損失(△)	465,722	268,640	188,145	△53,578	868,930	16,143	△146,934	738,140

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、感染拡大防止事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△146,934千円には、セグメント間取引消去2,613千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△149,547千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の収益は、保険法(平成20年法律第56号)における定義を満たす保険契約による収入が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 3
	会 員	保 証	保 険	駆けつけ (注)5	計			
売上高								
一定の期間にわたり 移転される財及び サービス	4,138,366	668,198	—	—	4,806,565	27,853	—	4,834,418
一時点で移転される 財及びサービス	818,708	137,752	—	144,705	1,101,165	116,075	—	1,217,240
顧客との契約から生 じる収益	4,957,075	805,950	—	144,705	5,907,731	143,928	—	6,051,659
その他の収益(注)4	—	—	3,156,920	—	3,156,920	—	—	3,156,920
外部顧客への売上高	4,957,075	805,950	3,156,920	144,705	9,064,651	143,928	—	9,208,579
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,942	—	2,294	△478	4,758	—	△4,758	—
計	4,960,017	805,950	3,159,215	144,226	9,069,409	143,928	△4,758	9,208,579
セグメント利益 又は損失(△)	444,993	295,072	219,637	△524	959,179	△27,920	△205,546	725,712

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、部材販売等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△205,546千円には、セグメント間取引消去3,075千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△208,621千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. その他の収益は、保険法(平成20年法律第56号)における定義を満たす保険契約による収入が含まれております。
5. 駆けつけ事業は、2022年11月30日に事業譲渡を行い、同事業からは同日をもって撤退しております。